

第7回「顎口腔機能セミナー」のご案内

—顎口腔機能研究ワークショップ開催—

日本顎口腔機能学会ではこれまで、顎口腔機能領域に興味を持つ若手研究者に、研究手法に関する情報と必要な手技の習得の場を提供し、若手研究者相互の親睦を深めることを趣旨として、サマースクールを開催してきました。今回はこの趣旨を引き継ぎながら、さらに実研究の進展をめざし、参加者全員が被験者として参加する参加型サマースクールを企画しました。これによって若手研究者相互の親睦が深まるとともに、1) 受講者は種々の先端の研究手法に直に接する機会を得ることができ、その実戦コンセプトを学ぶことができます。また、2) 講師は実際の研究の場としての設定に参加者とともに臨むことができます。

これまで同様、講師の方々にはボランティアでの自費参加をお願いしてありますので、参加費も低料金のままで開催できます。多数のご参加をお待ちしております。

会 期：平成23年8月5日（金）～7日（日）
（2泊3日）

会 場：「昭和大学富士吉田キャンパス」
〒403-0005
山梨県富士吉田市上吉田 4562
Tel.0555（22）4403

<http://www.showa-u.ac.jp/guide/campus/fujiyoshida.html>

主 催：日本顎口腔機能学会

主 管：昭和大学歯学部口腔生理学教室

校長 井上富雄

岡山大学 咬合・有床義歯補綴学分野

セミナー企画委員長 皆木省吾

交 通：中央高速バス「富士急ハイランド」下車
タクシー10分
富士急行富士吉田駅下車タクシー15分



【講師（予定）】

沖 和広、小野高裕、柏木宏介、小嶺祐子、近藤重悟、坂口 究、志賀 博、杉本恭子、田中昌博、津賀一弘、服部佳功、増田裕次、皆木省吾、山本雅章、吉川峰加（50音順）

【ワークショップのテーマ（予定）】

- 1) 信頼性（再現性）の高い咀嚼筋表面筋電図計測法
- 2) 最大努力で発揮する口唇閉鎖力と舌圧の関係および自然な舐めとの関係とこれらに姿勢が及ぼす影響
- 3) 咀嚼が変化すると嚥下運動は影響を受けるか
—咀嚼能力評価法と嚥下時舌圧計測法の実際—
- 4) 習慣性咀嚼側が咬合・咀嚼機能に及ぼす影響
- 5) 下顎基本運動を用いた理学療法（抵抗訓練）が咀嚼動作に及ぼす影響の解析

募集人数：40名（対象は大学院生ないし若手研究者）

参加費：2万4千円（宿泊費、懇親会費を含む）

申込方法：下記連絡先まで電子メールにてお申し込みください。

申込締切：2011年5月1日

連絡先： 望月文子 昭和大学歯学部口腔生理学講座 〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8
TEL 03-3784-8160 FAX 03-3784-8161 dent-phys@dent.showa-u.ac.jp